こっこめ通信 07 2024

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「棲みやすい場所はどこ？」号

6月21日、八丈を含めた関東甲信越に梅雨入りが発表されました。島は湿度は高いですが、降水量が多くなく、あまり梅雨らしくないですね。今年は記録を残し始めてから一番早く、6月8日にツクツクボウシが鳴き始めました。6月中旬には夏のように、昼間も鳴いていました。もう、梅雨は終わりでしょうか？

さて、今回は「三年連続のベニバト」と「八丈学講座『着生植物を観察しよう』」についてのお話です。

三年連続のベニバト

6月20日、以前にベニバトが降り立っていた八丈電設センターさんより「今年もベニバトが来ました」との連絡がありました。今年で三年連続です。

最初に確認されたのは2022年7月9日、この様子は、こっこめ通信2022年12月号【2022年に見た、お初とお久の珍鳥】で紹介しています。この時は赤みが強くオスでした。(写真下左・撮影：八丈電設センターさん)

2年目も同じ場所で2023年7月24日に確認されました。この様子は、ホームページ最近の話題【ベニバト再び】で紹介しています。赤みが少ないことからメスだと思われます。(写真下右：H.T.)

実はこの年は、伊豆諸島の他の島でも確認・撮影されていました。三宅島では7月17日にオス（X：旧ツイッターでの情報）、御蔵島では10月10日にメス（ブログとeBirdでの情報）が記録されています。

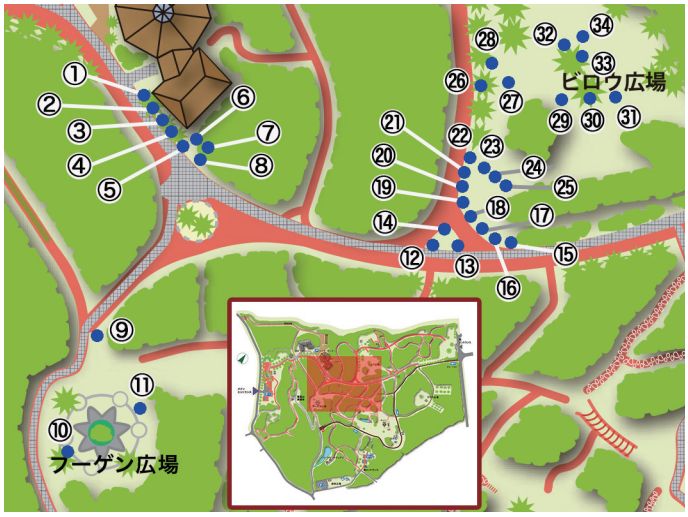
そして今年は6月中旬と、いままでで一番早い時期に渡ってきています。(写真上：H.T.) 2年目に伊豆諸島でオスもメスも撮影されていることから、毎年オスが先に通過して、そのあとにメスが通過しているということも考えられます。今年も7月に入ってからメスが渡って来ることがあるかもしれないです。いったいどこから来て、どこに向かっているのでしょうか？日本のどこかでオスとメスが落ち合い、繁殖していたらいいですね。

以前はとても珍しかったヤツガシラは、2005年以降、ほぼ毎年春の渡りで立ち寄り、ここ数年は夏から秋にかけての秋の渡りでも見られるようになってきています。小笠原から伊豆諸島での目撃個体数も増えてきているので小笠原から伊豆諸島の東京諸島ルートを通り、さらに北のどこかで繁殖しているのではないかと思っています。

今後、ベニバトも、伊豆諸島の島々での目撃情報が増え、渡りのルートなどが解明されてくるかもしれません。継続して情報を集めていきたいです！ (H.T.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈学講座「着生植物を観察しよう」



6月22日、八丈学講座「着生植物を観察しよう」を開催し、植物公園に植栽されているヤシ類にどんな植物が着生しているか調べました。

『着生植物』とは、木の幹や岩などに付着しているが、それから養分を得ているわけでない植物のことで、場所を借りているだけになります。着生する植物は、種子や胞子が風で運ばれたものや、鳥の糞から発芽した植物があります。

ヤシの仲間は葉の下部に枯れた葉柄が残り、そこにいろいろな植物が着生します。今回はビジターセンターからブーゲン広場、ビロウ広場にかけての、「ビロウ」と「カナリーヤシ」にどんな種類の着生植物があるか調べました。(上地図が調べた木の場所、下表が確認できた着生植物の一覧)

ビロウに比べるとカナリーヤシの方が、葉の枯れた部分が多く、さらに幹回りが太く樹高が高いため、着生している植物が多岐にわたっていることが分かります。カナリーヤシに着生している木本はかなり大きく生長しているものもありました。また、シダ植物のタマシダやヒトツバが付いている木が多く、カナリーヤシに至っては、ほぼ100%着生していました。環境省の準絶滅危惧(NT)に指定されているマツバランが付いている木も多くあります。風の強く湿度が高い島なので、胞子が飛ぶシダ植物の種数が少なかったのは少し意外でした。今後は他の場所にある違う種類のヤシに付いている着生植物も調べてみたいと思います。(H.T.)

	樹名	ビロウヤシ																			カナリーヤシ												
	樹木番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	10	11	12	13	14	26	27	28	29	30	31	32	33	
シダ	オオタニワタリ			●				●	●	●	●											●		●											風
シダ	タマシダ		●			●		●	●	●	●					●				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	風
シダ	ノキシノブ	●							●																										風
シダ	ヒトツバ	●		●	●	●						●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	風
シダ	マツバラン							●	●						●			●			●			●		●					●		●	●	風
木本	アカメガシワ																	●																	鳥
木本	イタビカズラ																														●				鳥
木本	イヌビワ			●					●								●		●	●			●												鳥
木本	オオシマザクラ															●																			鳥
木本	カジイチゴ																					●		●	●										鳥
木本	ガジュマル										●	●																●			●				鳥
木本	カナリーヤシ															●																			鳥
木本	シマクサギ																									●									鳥
木本	タブノキ																						●												鳥
木本	テイカカズラ																			●				●											風
木本	トベラ																	●		●				●	●						●	●			鳥
木本	ハゼノキ																							●		●									鳥
木本	ハチジョウキブシ																								●										鳥
木本	ヒサカキ																					●	●	●	●										鳥
木本	ヒメユズリハ											●			●	●		●		●				●	●	●									鳥
木本	ホルトノキ																								●										鳥
木本	モチノキ														●	●																			鳥
草本	アオツヅラフジ													●										●											鳥
草本	アシタバ							●																											鳥?
草本	オニタビラコ														●										●										風
草本	オニドコロ																						●												風
草本	ススキ sp.																							●									●		風
草本	ツルソバ																												●						鳥
草本	ニガカショウ																						●								●				鳥
草本	フウトウカズラ																						●												鳥
草本	ヘクソカズラ																									●		●	●					●	鳥

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、８名の参加者＋スタッフ２名で開催しました。今回は大勢の参加者と賑やかに始まり、シダ植物２０種類を含む９６種類の植物を観察しました。オオタニワタリの大きさや、先月は満開だった花が今月は一つもなく新芽が出始めていて、植物の生長の早さに驚きながら進むと、樹上に沢山のサクラランが咲いていました。生息範囲が広がっていてこちらも驚きでした。(M.O.)

八丈植物公園季節調査（2024 年度第３回）６月９日　天気：曇り、気温：23.5℃

調査者：西喜、沖山、青木、小池、ナルセ、アラキ、木下、茂手木　　VC：沖山、高須

1	ヤブニッケイ	蕾、花、もち病菌終わり
2	タコノキ	気根の長さ ２９．７cm、太さ １２cm、実
3	オオタニワタリ	最長丈 １２７、５cm、幅１６、８cm
4	ニオイウツギ	花（白、ピンク）、実沢山
5	ニオイバンマツリ	新芽
6	オオシマザクラ	サクラクワガタハバチによる食害

7	アオノクマタケラン	花	38	シチトウスミレ	花・閉鎖花	69	ヘラバヒメジョオン	蕾
8	アガパンサス	花	39	シロツメグサ	花	70	ホウライアオキ	花
9	アカメガシワ	雄花	40	スダジイ	虫コブ	71	マルバデイゴ	花
10	アメリカスズメノヒエ	実	41	セイヨウタンポポ	花・実	72	ミツバ	花
11	アロウカリア	実生苗	42	センダン	実	73	ムラサキカタバミ	花
12	イヌガラシ	花	43	ソウシジュ	花	74	モッコク	蕾
13	イヌクグ	実	44	タイミンタチバナ	実	75	モンステラ	実
14	イヌビワ	花・実	45	タケダグサ	花	76	ヤマモモ	実
15	ウスベニニガナ	花	46	タチスズメノヒエ	実			
16	ウラジロチチコグサ	実	47	チガヤ	実	シダ植物		
17	エノキ	実	48	ツメクサ	花	1	イシカグマ	
18	オオキンバイザサ	花	49	ツユクサ	花	2	ウチワゴケ	
19	オオバコ	花	50	テイカカズラ	花	3	オオイタチシダ	
20	オオムラサキシキブ	花・蕾	51	トウバナ	花	4	オニヤブソテツ	
21	オニタビラコ	花	52	トキワハゼ	花	5	カニクサ	
22	オニドコロ	花・蕾	53	トベラ	実	6	スギナ	
23	ガクアジサイ	花	54	ナギナタガヤ	実	7	タチクラマゴケ	
24	ガジュマル	花	55	ニワゼキショウ	花	8	タチシノブ	
25	カタバミ	花	56	ネジバナ	花	9	タマシダ	
26	カニツリグサ	実	57	ハイビスカス	花	10	ナチシケシダ	胞子嚢
27	キョウチクトウ	花	58	ハゼノキ	実	11	ノキシノブ	胞子嚢
28	キランソウ	花	59	ハハコグサ	花・実	12	ハチジョウカナワラビ	
29	クワズイモ	花	60	ハルジオン	花	13	ハチジョウシダ	
30	クサイ	実	61	ヒサカキ	実	14	ハマハナヤスリ	胞子嚢
31	コケリンドウ	花	62	ヒシバデイゴ	花	15	ヒトツバ	
32	コナスビ	花	63	ヒナギキョウ	花	16	ホシダ	
33	ゴムノキ	花	64	ヒメクグ	花・実	17	マツバラン	
34	コメツブツメクサ	花	65	ヒメコバンソウ	花	18	マメヅタ	
35	コモチマンネングサ	花	66	ヒメユズリハ	実	19	ヤマイタチシダ	
36	サクユリ	蕾	67	ヒメヨツバムグラ	花	20	ワラビ	
37	サクララン	花	68	ブラシノキ	新芽			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、カナリーヤシにも着生していた「ハゼノキ」にスポットを当ててみたいと思います。

ハゼノキ　　*Toxicodendron succedaneum*

ウルシ科ウルシ属、高さ 10m になる落葉高木。日本では関東南部から沖縄にかけて分布し、中国・台湾・マレーシア・インドなどにも分布しています。八丈島も自生と思われます。(鳥による分布 ?)

八丈島では紅葉する樹木が少なく、このハゼノキだけがきれいに紅葉します。果実からはロウがとれ、過去にビジターセンターでロウソクを作った様子を、こっこめ通信 2022 年 2 月号で紹介しています。

2024 7 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1 14:20 07:13 18:51	2 00:45 15:44 08:12 20:12	3 01:39 16:43 09:04 21:22	4 02:32 17:29 09:52 22:17	5 03:22 18:08 10:36 23:01	● 小暑 6 ガイドウォーク 04:08 18:42 11:16 23:29
7 ガイドウォーク 04:51 19:12 11:55	8 05:32 19:39 00:13 12:30	9 06:11 20:03 00:47 13:04	10 06:51 20:26 01:21 13:36	11 07:33 20:50 01:59 14:07	12 08:21 21:26 02:42 14:40	13 ガイドウォーク 09:20 21:45 03:34 15:16
◐ 14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 10:42 22:20 04:39 15:59	15 ガイドウォーク 12:37 23:06 05:51 17:00	16 14:29 06:59 18:30	17 00:05 15:40 07:59 20:04	18 01:12 16:28 08:51 21:14	19 02:11 17:08 09:37 22:05	20 ガイドウォーク 03:03 17:46 10:21 22:46
○ 21 ガイドウォーク 03:52 18:21 11:04 23:25	大暑 22 04:40 18:56 11:46	23 05:29 20:34 00:53 13:17	24 06:19 20:01 00:46 13:07	25 07:12 20:30 01:30 13:46	26 08:08 20:58 02:17 14:24	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「ディープな水槽解説」 09:13 21:24 03:11 15:00
◑ 28 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「親子で夜の昆虫観察会」 10:36 21:54 04:12 15:37	29 12:40 22:32 05:24 16:22	30 15:14 23:39 06:42 17:57	31 16:22 07:56 20:27			この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 7／14 （13：30～ 約１時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
八丈学講座 「ディープな水槽解説」	毎月行っている八丈学講座。４月にリニューアルした水槽の前でいつもより少し深い解説をします。 7／27 （13：30～ 約１時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
夏休み特別行事 「親子で夜の昆虫観察会」	植物公園内で、夜に活動する昆虫を探して観察します。 7／28 （19：30～ 約１時間半）４歳以上の子供と保護者（４歳未満の同伴は不可） ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約１時間） だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2024.7.1 第278号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/

編集後記

どこから来てどこへ行くのか？どうして八丈島にやって来たのか？言葉が通じるならいろいろなことを聞きたいのですが、それは無理というもの。それを埋めるには記録を取っておくことが大事。デジタルになって写真を撮れば、場所も時間もバッチリです！ (H.T.)